



校長室だより

スローガン ～生徒も先生も、自ら輝く学校～

目指す学校像

『未来を、たくましく生き抜ける生徒』の育成
キーワード「自立・貢献・創造」

令和5年9月22日(金)
発行者 田熊利光



石橋中ホームページQRコード

全校生徒の絆が深まった最高の運動会！ 保護者の皆様、応援ありがとうございました。

9月16日(土)天気にも恵まれ、最高のコンディションの中、3年生にとっては最後の運動会が、石崎雅也教育長、教育委員の皆様、学校運営協議員の皆様をご来賓にお迎えして、開催できたことを嬉しく思います。

先週の月曜日に全体練習がスタートし、水曜日は予行でしたが、予行の時にはどの団も、マ스ゲームがほぼ完成していました。さらに各団とも予行後のたった2日間で、マ스ゲームの完成度をぐんと上げてきました。この各団の**追究心**には驚きました。過去最速で、マ스ゲームを仕上げる事ができたと思います。それは、全体練習開始前から3年生の応援団を中心にマ스ゲームを仕上げ、テーマに合う隊形変化や振り付けを考えてきたからです。各学年の応援団の人たちは、夏休みに集まり振り付けを覚えていました。それを仲間や後輩たちに丁寧に教えながら、完璧な形に仕上げたわけですね。この目には見えない「**陰の努力と仲間への貢献**」に拍手を送りたいと思います。

また、陸上競技部の生徒の中には、休みの日もライン引きを長時間手伝ってくれた人もいました。このように多くの人たちの「**陰の努力と仲間への貢献**」があって「**運動会の創造への挑戦の舞台**」はできあがりしました。当日は、各係が、最大限に力を発揮して、運動会を支え、盛り上げてくれました。そして、全校生徒が心一つにして「**勝ち負けを超えた全校生徒の絆**」を深めることができました。全てのみなさんに感謝します。

マ스ゲームについて

審査基準は以下の4観点、各項目5点満点

①テーマを理解できるか	③動きがそろっているか(完成度)
②全員で行う意味のある構成か	④テーマと選曲が合っているか

どの団もこの採点基準を意識して、練習に取り組んでいました。特に②③は、予行後のアドバイスを受けて、相当レベルアップできました。一人一人がテーマを表現しようとする本気度によって見る人の感じ方も大きく変わったと思います。昨年度も書きましたが、「**画竜点睛**」という言葉があります。昔、中国にいた張という絵の名人が、お寺の壁に龍の絵を描きました。絵の仕上げとして、張が龍の瞳を描き入れると、龍は壁から抜け出して空へ昇っていきました。この言い伝えから、龍の瞳を描き入れることが、「物事の最後の大切な仕上げ」の象徴とされ「**画竜点睛**」という言葉が生まれたと言われていています。マ스ゲームも「最後の仕上げ」がポイントでした。最後の仕上げとは何でしょうか。私は「**全員の心一つにすること=全員でテーマを表現しきること**」そして、「**最後の決めて魅せること**」だと思います。

3年生の**リーダーシップ**の素晴らしさ、1、2年生の**メンバーシップ**の素晴らしさが十分に発揮された最高の運動会でした。運動会の練習を楽しそうにやっている全校生徒の姿は、輝いて見えました。特に、笑顔で1年生が頑張っている姿を見て、先輩たちの後輩への接し方・練習の進め方が上手なんだと感心しました。2年生は、3年生と1年生を「**つなぐ**」大切な役割を果たしながら、来年度のために3年生から様々なことを学ぶことができました。

次年度は、今の2年生が「**最高の運動会を創造**」してくれることを期待しています。

今年度の運動会の結果は以下の通りです

総合成績	優勝 黄色団	準優勝 青団	3位 紫団	4位 オレンジ団	5位 ピンク団	6位 緑団
マ스ゲーム	最優秀賞 オレンジ団	準優勝 紫団	3位 ピンク団			

各種目3位まで

種目	1位	2位	3位
大縄跳び	1年青団 2年青団 3年青団	1年オレンジ団 2年紫団 3年オレンジ団	1年黄色団 2年黄色団 3年緑団
縦割り選抜リレー	黄色団	紫団	ピンク団
タイヤ取り	緑団	オレンジ団 紫団	
玉入れ	青団	黄色団	緑団
1年色別リレー	紫団	黄色団	緑団
2年色別リレー	黄色団	オレンジ団	紫団
3年色別リレー	黄色団	ピンク団	青団

運動会を終えての感想

生徒会長 齋藤風凧さんの言葉

天候に恵まれ、運動会は大成功に終わり、私にとって最後で最高のものとなりました。私は集団演技長として4月からこの運動会へ向けて準備を続けてきました。テーマに曲に振り付けまで全てをゼロから創ることはスムーズには行きません。時には意見の違いで、なかなか進まないこともありました。それでも、「優勝」という共通の目標があったので、互いの意見を尊重し合い、紫団のマスゲームとして「ゾンビ」を完成することができました。これらの経験を今後の学校生活に生かしていきます。

後輩の皆さんへ。私たちは、卒業した先輩を越える運動会を目指して、今まで頑張り今回の運動会を創造することができたので、後輩の皆さんには、自分たちを越える運動会を創り上げるために、皆で力を合わせて頑張ってもらいたいと思います。

運動会総団長(運動会実行委員長) 小林航大さんの言葉

私はこの学校で運動会ができたことがすごく嬉しく思います。私は総団長になることがとても心配でした。ですが3年生の応援団や先生方が助けてくださったことで、最高の運動会にすることができました。本当にありがとうございました。この3年生の皆さんと最後の運動会ができて良かったです。

そして、1、2年生の皆さん、学校行事に全力で取り組む3年生の姿を来年も引き継いでください。

色別総合優勝黄色団長 大屋爽空さんの言葉

みんなをまとめ、ダンスを教えたりするのが大変でした。でも、みんなに気合いをいれたり、盛り上げたりするのが楽しかったです。今までで一番最高の運動会でした。自分が怪我で出られる競技が少なかったけれど、出られた競技は全力で力を出して楽しんでできました。みんなをひっぱっていくのが楽しかったです。

後輩の皆さん、来年は皆さんが、石中の運動会を盛り上げてください。

最優秀マスゲーム賞 オレンジ団責任者 小島夢空さんの言葉

私は去年の先輩の姿に憧れ、集団演技長を務めさせていただきました。実際に集団演技長としてみんなの前に立つと、ちゃんと引っ張っていけるか、マスゲームを完成させられるのか、など不安や心配がたくさんありました。ですが、仲間や後輩が支えてくれたお陰で、自信を持ち最後まで務めを果たすことができました。テーマ設定から振り付け、隊形変化まで自分たちで創らなければならないので、仲間とぶつかり合うことも多々ありました。そんないろいろな思いが詰まった演技をオレンジ団で創り上げ、最優秀賞を取ることができ、とても嬉しいです。

みんなで心をつにしたからこそできた集団演技は、私にとって最高の思い出です。このメンバーで最後の運動会ができて本当に良かったです。オレンジ団のみんなありがとう！